

取組の概要

取組の概要 : 高収益化による競争力の強化
 計画作成主体 : 須崎市地域農業再生協議会
 対象品目 : みょうが (施設栽培)
 (産地面積: 69.54ha)
 主な取組主体 : 土佐くろしお農業協同組合
 農業者 84名
 成果目標 : 所得額の10%以上の増加
 助成金の活用 : 整備事業 (生産技術高度化施設
 状況 低コスト耐候性ハウス)
 基金事業 (自動包装機、養液循環システム)

ポイント

低コスト耐候性ハウスの導入による高度化及び規模拡大に加え、JA出荷場における自動包装機導入による出荷コスト削減と既存ハウスにおける循環式養液栽培システム導入に伴う肥料費削減の取組を行うことにより所得額の10%以上の増加を図る。

地区の概要



産地の現状と目標

〈現状:H28園芸年度〉

作付面積 : 67.12ha
 所得額 : 2,239千円/10a

〈目標:H32園芸年度〉

作付面積 : 69.54ha
 所得額 : 2,952千円/10a



推進体制

地域の関係者(土佐くろしお農業協同組合、須崎市、県須崎農業振興センター等)が一体となり、事業を推進。

地域における独自の取組

〈主な取組〉

- 環境制御技術(統合環境制御装置、炭酸ガス施用、ミスト装置等)などの新たな栽培技術の導入による品質・収量の向上に向けた取組。
- 新規就農者の確保・育成、既存農家のハウス整備等による規模拡大。

〈県・市単独事業〉

- 環境制御技術普及促進事業により環境制御機器等の導入を支援。
- 高知県園芸用ハウス整備事業によりハウス整備を支援。

事業効果

- 低コスト耐候性ハウスの導入による高度化及び規模拡大。
- JA出荷場における自動包装機導入による出荷コスト削減。
- 既存ハウスにおける循環式養液栽培システム導入に伴う肥料費削減により農家所得の向上を実現。

～みょうがの所得～

